

2015年2月28日（土）

参加者 岡本（L・記）、嶋原

本来は、明日が例会なのだが、明日は終日雨ということで土曜日に変更。当番の佐々木さんは仕事で参加できず、2人だけの山行となる。交通事情が良くないとのことで、三峰山を釈迦岳に変更することになった。

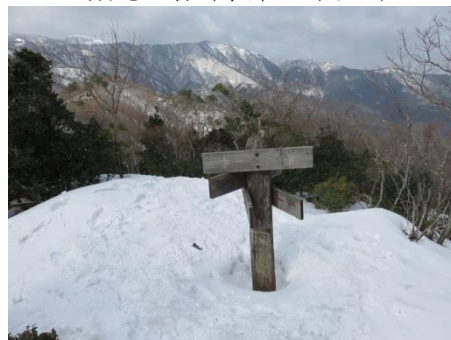
今日は、昼過ぎまで晴れるはずであったが、やはり雪国に近い比良の北部の天気、どんよりしている。昨日は少し雪が降ったらしく、楊梅の滝の登山口付近にも少し白いものが残っている。涼峠辺りまでくると、道全体が雪に覆われてくる。踏み跡がいくつか残っており、これだと尾根に入ってもラッセルは無さそうだ。少し休み出発する。ヤケ山への登りに入ると、結構雪がある。しかし、雪を楽しむために雪山に登るのであるから文句は言えない。暫くはさほど雪は無いと思うが、ヤケオ山の登りからは雪が深くなるはずだと言うことで、ここで私だけがアイゼンを付ける。

ヤケオ山の登りに入ると、先行する4人組に追いつく。この辺りになると積雪も50cmから1m近くになり雪に足が取られるようになる。尾根に入ると景色がよく見え、また、天候も少しずつ良くなってくると、来た甲斐があった気分になる。ただ、霞と黄砂の影響もあり、すっきりと言う訳にはいかない。それでも春の琵琶湖を眺め、比良の山々や、その向こうに福井県境

の山々も眺望でき、まずまずの天気だ。この景色の見える分救われるが、このコースではこの登りが一番きつい。2月終わりで、気温も比較的高く、風もあまり無い良いコンディションではあるが、体中から汗が噴き出てくる。急登を登り切るとヤケオ山だ。このコースでは、一番眺望が良い場所だ。ここでしばし休憩。景色を楽しむ。まだ少し登りはあるが、まあ、大したことは無いだろう。



(行きの涼峠、帰り雪なし)



(ヤケ山と蛇谷ヶ峰方面)



(ヤケオ山山頂付近から蛇谷ヶ峰方面)



(ヤケオ山頂上)



(ヤケオ山から釈迦岳)

少し歩き出すと更に前に行くグループが見える。5～6人はいそうだ。急いでも仕方ないので、景色を楽しみながらのんびりと行く。しかし、楽勝と思っていたが、重い雪の所為か、意外にきつい。

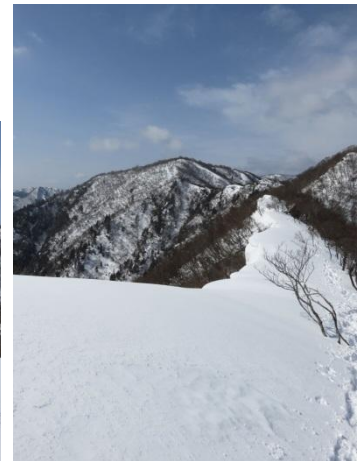
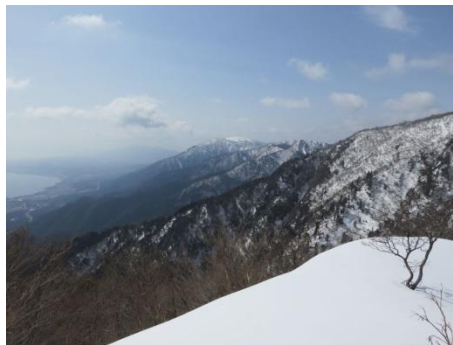
思いの外時間が掛かってしまったが、漸く山頂に着く。先行グループもそこで休んでいる。8人ほどのツアーのようなグループだ。見ると何人かはスノーシュー

を持っていて、付けたくてうずうずしているみたいだ。我々は重りだけのスノーシューだが、そのグループの何人かは実際に装着しようとしている。

行動食を取り、少し休んでから下山する。やはり下りは楽だ。天気も良く、風も無く、眺望も良い尾根を気分良く進む。ただ、雪が更に緩みだし、所々でずばずば足を取られる。まあ、これも楽しみを言えば楽しみだ。涼峠に近づくと、登りの時にはそこそこあった雪が殆ど消えてしまっている。後は休まず、どんどん下って行く。

参考タイム

9:10 楊梅の滝登山口→9:45 涼峠→10:20 ヤケ山→11:30 ヤケオ山→12:20 釈迦岳
(12:45発) →13:15 ヤケオ山→14:00 ヤケ山→14:30 涼峠→14:55 登山口



(左・右ともヤケオ山からの眺望)



(釈迦岳山頂)